



石川県済生会金沢病院 〒 920-0353 金沢市赤土町二 13-6 TEL (076) 266-1060 FAX (076) 266-1070
E-mail saiseikh-s@saiseikaikanazawa.jp URL <http://www.saiseikaikanazawa.jp/>

看護外来の紹介～フットケア外来～

看護部長 越戸 和代



石川県済生会金沢病院の看護外来についてご紹介させていただきます。

看護外来とは、専門的な知識・技術を持った看護師が、通院治療中の患者さんやご家族からの療養生活上の相談、症状緩和に向けた看護ケアなどを行う外来です。医師やリハビリセラピストをはじめとした医療チームのメンバーと連携を取りながら、患者さんの生活の質向上に向けた支援に努めています。

当院には、そらまめ外来(透析予防指導、糖尿病合併症予防の足病変指導)、フットケア外来、スーマケア外来、がん相談、リンパ浮腫外来といった看護外来があります。すべての看護外来について紹介したいところですが、紙面の都合もあるため、今回はフットケア外来を紹介します。

フットケア外来は、毎週木曜日(9:00～15:00予約制)、日本フットケア足病医学会認定のフットケア指導士(看護師)が担当しています。受診の流れとしては、診療科(内科、整形外科、皮膚科など)を受診し、足病変があり看護ケアが必要と診断された患者さんが、フットケア外来に紹介されます。フットケア外来の所要時間は一人30～50分程度で、症状に応じて足浴、爪ケア、胼胝(たこ)・鶏眼(うおのめ)・創傷処置、靴の試着、圧迫療法、セルフケア指導などを行っています。外来患者さんだけでなく、入院患者さんにも対応しています。

フットケア外来の看護師たちは、「近隣・地域における足の健康維持と足病変の重症化予防」に向けて、他職種と連携し、ケア・指導に当たっており、知識や技術の維持向上のため

のブラッシュアップも怠りません。足や靴のトラブルは、転倒の要因となり、日常生活動作の低下につながります。足にトラブルを抱えて悩んでいる方は、当院にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口：患者サポートセンター



最新のCT装置が導入されました

当院のCT装置は、シングルCT、Aquilion8(8列)、Aquilion64(64列)を経て、2022年9月12日からAquilion PRIME SP iEdition(80列)に更新し稼働を開始しました。

同時に薄暗くどこか雑多な雰囲気だったCT室も、女性技師の声をふんだんに盛り込んだ、明るく温かみのあるCT室へと一新し、患者さんにとって落ち着いた雰囲気でご検査を受けていただける環境となった。

今回は、導入後まだ日は浅いが、初期使用経験について紹介する。

PRIME SP iEditionの特徴はいろいろあるが、大きな特徴は、全体の外観である。高さ・横幅がコンパクトになり、ダウンサイジングされたにもかかわらず、ガントリ開口径が780mmとワイドボアになったことである。以前の64列よりも開口径が60mm広くなっただけだが、ガントリから感じる圧迫感が少なくなり「閉所恐怖症の方も安心して検査を受けられるのでは？」といった印象を受けた。寝台も左右に42mmずつ移動するので、救急などの患者さんに無理な体勢を取らずことなく被写体を回転中心に寄せることが可能となり、再ポジショニングすることが減っただけでなく、画像分解能が向上した。

さらに画質の面では64列ではかなわなかった、0.35sec/rot、high pitchの高速撮影を用いることにより、息どめが難しい方であっても肺尖から骨盤までを最速約3secで撮影し、呼吸性移動のない画像を提供することが可能となった。

そしてPRIME SP iEditionは、人工知能(AI)を用いて設計されたAdvanced intelligent Clear-IQ Engine-integrated (AiCE-i)やAIDR 3D Enhanced、金属アーチファクト低減技術 Single Energy Metal Artifact Reduction (SEMAR)といった画像再構成技術と併せて高画質で低被ばくな検査を実現できる。今後はますますの被ばく低減や検査時間の短縮など、CTが持つこれらの特性を最大限に活かし、CTが患者さんに優しい検査になるように努力を続けていきたい。Aquilion PRIME SP iEditionは、その一助となる装置であり、CTを使う側にとっても、撮影される側にとっても優しい装置であると言える。

1ヶ月と長い工事期間中、当院スタッフの皆さん、患者さんには放射線部に沢山のご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。(放射線部 山本 仁美)



『食欲の秋』 行事食のご紹介



当院では、入院中も患者さんに季節を感じて頂けるよう、年に24回、四季折々に旬の食材を取り入れた行事食を提供しています。

10月19日(水)の行事食は『秋御前』で、さつまいもご飯、秋刀魚のかば焼き、柿と青菜の白和え、具だくさん豚汁、季節の果物(巨峰)でした。ホクホクのさつまいもご飯と、秋刀魚のかば焼きの甘だれがとても良い香りで、食欲の秋にピッタリな食べ応えのある昼食に仕上がりました。

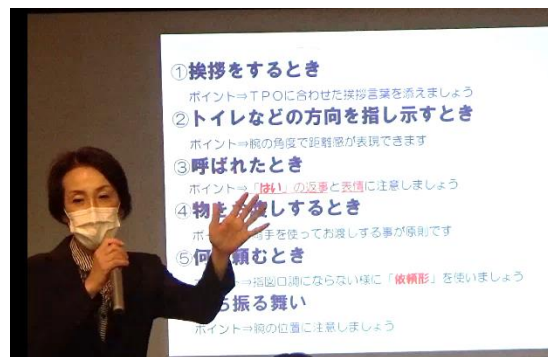
これからも、「済生会金沢病院の食事は美味しい!」と喜んでもらえ、かつ安心安全な食事作りを目指していきたいと思えます。

接遇講演会を行いました

10月20日(木)、当院討議室にて「接遇講演会」を開催しました。感染対策のため、参加は新入職員を対象とし、28名が参加しました。

(株)医療サポートの中野みさを氏を講師にお招きし、「接遇基本研修 ～必要とされる自身の言動～」をテーマに、社会人としての基礎力をはじめ、医療従事者として「不安」「心配」「苦痛」を抱く患者さんやご家族の気持ちに寄り添える対応の大切さについてなど、約30分ご講演をいただきました。

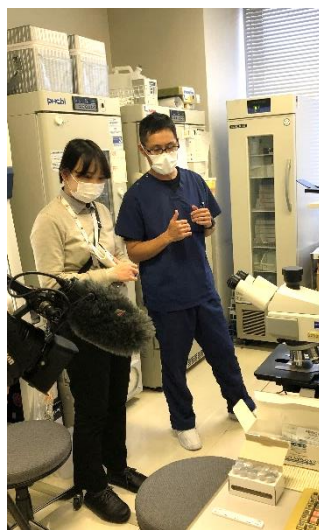
普段から正しい対応が出来ているのか、身だしなみはきちんとされているか、一人ひとりが自らを振り返る良いきっかけになりました。今回、研修会で学んだことを病院内での対応に活かし、より良い医療・看護の提供に繋げていきたいと思います。



『新型コロナとインフルエンザ同時流行に備える』地元NHKに出演

当院、消化器内科医長 兼 感染対策室室長の方堂祐治医師が10月25日、『新型コロナとインフルエンザ同時流行に備える』とのテーマで地元NHK(金沢放送局)のニュース番組の取材を受けました。取材の様子は11月1日18時と20時台の2回放送されました。

方堂医師は、第7派でスタッフ不足が深刻化し、提供できる医療が一時限界に近づいた経験から、第8派とインフルエンザ流行が重なった時の医療現場の心配や危機感を訴えました。当院では、コロナウイルスとインフルエンザウイルスを同時に判定できる検査キットを導入し、また、発熱外来で診療進捗状況をスタッフが効率的に情報共有できる仕組みを整え、同時流行が発生しても円滑に対応できるよう準備を進めています。それでも起こりうる医療機関ひっ迫を防止するため、患者さん自身も感染対策、検査キットや解熱剤の準備など「セルフメディケーション」をしていただければとお話しました。



11月14日は世界糖尿病デー



世界糖尿病デーとは、WHO(世界保健機関)が定めた国際デーで、11月14日はインスリンの発見者であるフレデリック・バンティングの誕生日にあたります。

今年も感染予防の観点から規模を縮小し、外来の掲示板で糖尿病とその予防など、様々なポスターを掲示しました。糖尿病啓発のシンボルカラーである青を使ったりリボンやフラワーペーパーで飾り付けし、見て楽しい目を引く掲示板になりました。

糖尿病デーをきっかけに、ご自分やご家族、大切な人とともに、糖尿病について考えていただければと思います。

なでしこ出前健康講座

なでしこ出前健康講座って？

済生会金沢病院では、専門の医師、認定看護師、社会福祉士、その他スタッフによる出前健康講座を行っています。

当院で行っている講座の一例としては、『病気のお話』『がんのお話』『緩和ケアってなあに？』などがあり、その他ご要望に合わせてご相談させていただいています。

なお、地域の皆さま、並びに非営利団体さまからのご依頼については、講演料は無料です。Zoomで開催も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。たくさんの方々、地域の皆さまからのお申し込みをお待ちしています。



秋も、公民館や屋外
Zoomでたくさんの
出前健康講座を
開催しました！

講座一覧や申込み方法などは
当院のホームページをご覧ください。



登録医のご紹介

ののいち整形外科脊椎外科クリニック



住 所：〒921-8821
野々市市白山町5番21号

T E L：076-256-2030

診療科名：整形外科、脊椎外科、
リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8：30～12：00	●	●	●	/	●	△	/
14：00～18：00	●	●	●	/	●	/	/

休診日は木、日、祝です。

△…土曜日の午前は8時30分～13時までの診療です。

2020年12月に野々市市白山町に開院いたしました。ドラッグストアの駐車場内に位置し、お車でご来院の患者様には便利な立地となっています。

整形外科一般の診療はもとより、腰痛・坐骨神経痛、外傷、骨粗鬆症などの診療に力を入れています。連携病院において脊椎圧迫骨折に対する椎体形成術などの手術も行っています。

患者様の痛みに寄り添い、患者様とともに考えながら治療を進めてまいります。また、スタッフ全員で丁寧な診療、接遇を心がけています。どうぞよろしくお願いいたします。



院長：松井 貴至 先生